



日本赤十字社 京都第二赤十字病院 広報誌

病院理念 | 歩みに入る人にやすらぎを、帰りゆく人に幸せを

TAKE FREE
vol.8
2018 Apr



地域とつながる広報誌



やすらぎ

特集

病院の薬剤師って どんなお仕事をしているの?

私たち薬剤師が解説します!

薬剤師
岡橋 孝侍



薬剤師
友金 幹視



薬剤師
藤田 敦夫



院長ご挨拶

平成30年度に際して

京都第二赤十字病院 院長 小林 裕



当院の理念である「歩みに入る人にやすらぎを、帰りゆく人に幸せを」を達成するために、
今年度も引き続き「安全で、質の高い医療を、継続して提供する」目標に職員一同、
精いっぱい努めてまいります。

高度急性期病院の役割を果たすために

赤十字病院である当院の役割には、災害救護と日々の日常診療があります。

災害救護に関しては、出動の機会はない方がいいのですが、いざという時のために、日ごろから訓練をし、緊張感を持続するようにしています。

日常診療に関しては、当院は今年度も保険診療上、包括医療費支払い制度(DPC)特定病院群(以前のⅡ群)と位置付けられ、今後も地域中核病院として高度急性期病院の役割を果たしていく覚悟です。そのために、①救命救急センターを中心とした救急医療 ②がん診療推進室のさらなる強化(各部署横断的ながん診療を目的に昨年立ち上げたがん診療推進室に、昨年度末から外来化学療法室を再編) ③特殊専門領域の診療を3本柱に邁進する所存です。



医療と介護の連携が急務の課題

これからの医療は、かかりつけ医、回復期病院、慢性期病院等との医療施設相互の役割分担だけでなく、介護福祉施設との連携協力も重要であり、地域全体で患者さんを中心にチームとして一緒にケアを考えていくことになります。今年度には、医療・介護福祉施設との連携をさらに強めることで、高度急性期病院は急性期疾患の入院や特殊な病気になります特化し、特に一般外来を縮小するよう国の方針が示されました。また、退院後の生活を視野に入れた生活支援や、状況によっては回復期への転院準備などを入院前から早期に開始することも推進されました。

当院では、今まで以上に医療と介護の連携を推し進めるべく、一部組織の改編を計画中です。そして、高度急性期病院として、適正で効率的な診療を継続し、地域医療に貢献し続けたいと考えています。患者さんにもご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

副院長就任のご挨拶

専門性と時代に沿った変革で病院に貢献したい

副院長 出島 健司



この度、平成30年4月1日付で副院長を拝命いたしました。従来通り、耳鼻咽喉科部長も兼任し、当院の業務を精いっぱい務める所存です。平成15年に当院に赴任して以来、比較的小な診療部門である耳鼻咽喉科を統括してきましたが、今回病院全体に視野を広げて職責を果たすこととなり、その重責に身が引き締まる思いです。1日でも早く副院長職に慣れて、当院のさまざまな課題の解決に向けて小林院長を助ける存在になれるよう一層努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は昭和59年に京都府立医科大学を卒業し、母校の耳鼻咽喉科学教室に入局いたしました。入局後、一貫して鼻科学の基礎および臨床研究に携わり、当時の竹中洋講師(現京都府立医科大学学長)、久育男名誉教授(現京都学園大学副学長)のご指導の下、鼻アレルギーと慢性副鼻腔炎をテーマに研鑽を積んでまいりました。アレルギーの分野では、日本アレルギー学会指導医、京滋臨床アレルギー懇話会の代表世話人をしております。副鼻腔炎の分野では、平成3年に京都でいち早く内視鏡下の鼻内手術を導入し、現在までに全国トップクラスの約3,500例の手術経験があります。鼻の症状で苦しむ患者さんで観血的治療の適応と希望があれば、今後も高い医療技術を提供していきたいと考えております。また、平成25年から社会保険診療報酬支払基金の審査委員となり、より深く保険医療の業務に携わるようになりました。現在、日本耳鼻咽喉科学会保険医療委員、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)委員などを務めております。当院でも保険医療委員会を担当しており、この分野でも病院に貢献してまいりたいと存じます。

この15年の間に、当院を取り巻く医療環境は大きく変わりました。カルテは紙から電子カルテに、外来は来院順から予約制となり、入院期間は大幅に短縮した一方、手術件数は増加の一途をたどっています。目まぐるしい変革の中、医師をはじめ多くの職員の負担も重くなっていますが、今後はその働き方も適正にしていく必要があります。また、老朽化したB・C棟の建て替え新棟建設も成し遂げねばなりません。

たくさんの課題がありますが、当院の長所である強い救命救急と高い臨床力をツールにして、前進していくと信じております。人の命を守る赤十字の医療人としての誇りと使命感を持って副院長職を務めてまいります。今後も皆さまのご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●出島 健司(でじま けんじ)

- 1984年 京都府立医科大学医学部卒業
京都府立医科大学附属病院研修医(耳鼻咽喉科)
1986年 公立湖北総合病院(現長浜市立湖北病院)耳鼻咽喉科医長
1989年 京都府立医科大学助手(耳鼻咽喉科)
1991年 京都第一赤十字病院耳鼻咽喉科医員
1994年 京都府立与謝の海病院(現京都府立医科大学附属北部医療センター)耳鼻咽喉科医長
京都府立医科大学助手(併任)
1996年 京都府立医科大学学内講師
1999年 京都府立医科大学講師
2001年 アメリカ合衆国ノースカロライナ大学医学部内科嚢胞性線維症および肺疾患研究・治療センター(客員研究員)留学
2003年 京都第二赤十字病院耳鼻咽喉科部長
京都府立医科大学耳鼻咽喉科客員講師
2005年 京都府立医科大学耳鼻咽喉科臨床教授(併任)
2018年 京都第二赤十字病院副院長

地域の皆さまへ



高度急性期病院である当院だけでは地域医療は完結しません。地域の病院や診療所の先生方との連携がとても重要であると考えています。当院が掲げる理念「歩みに入る人にやすらぎを、帰りゆく人に幸せを」の達成には、患者さんが満足する医療を提供することが基本であり最も重要なことです。今後も地域の皆さまのご協力を賜りながら地域医療に貢献してまいります。

病院の薬剤師って どんなお仕事をしているの？

「病院の薬剤師ってどんなお仕事をしているの？」と疑問に思ったことはありませんか？ 病院の薬剤師は患者さんの外来通院中からかかりわり、入院中はもちろんのこと、退院時、そして退院後も途切れることなく患者さんをサポートし続けます。今回は当院の薬剤師が入院から退院、外来通院までの一連の中でどのように関わっているかをご紹介いたします。



そもそも、病院の薬剤師とは？？

薬剤師は、医薬品全般について幅広い知識を持つ「薬」の専門家です。処方箋に基づく調剤やお薬が効いているのか、副作用が出現していないか確認し、患者さんへ服薬説明することなどが主なお仕事です。特に病院の薬剤師は、お薬の調剤、注射薬や点滴の調製・管理、飲み方の指導を中心に行います。時には患者さん個々に適した投与量や投与方法を検討するために血液中の薬の濃度を解析したり、副作用などの改善策を医師等に提言することもあります。特に当院の薬剤師は緩和ケアチーム（PCT）、栄養サポートチーム（NST）、がん診療推進室、感染対策チームなどのチーム医療にも所属し、専門的なサポートを行っています。

薬剤師 加藤 良隆



入院治療

病棟薬剤師のお仕事



通院治療

薬剤師外来でのお仕事

患者さんの治療経過や問題点などの情報共有

薬の効果や安全性にかかる情報共有でシームレスな医療連携へ

1

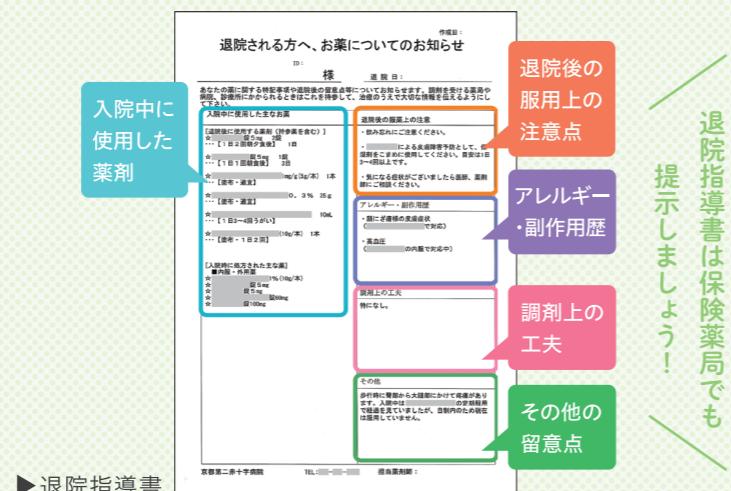
お薬に関する情報収集

外来において手術や検査のために入院が決まった患者さんは、お薬サポートセンターにて手術や検査に備えて、中止すべきお薬がないか確認します。入院当日には患者さんの服用されているお薬を全て確認し、主治医に伝えます。同時にアレルギー歴や副作用などの患者さんのお薬に関する情報収集に努めます。この時、お薬手帳があると情報収集に時間をかけることなく現在服用されているお薬の内容を把握することができます。また、カルテから病態に関する情報や医師や看護師から今後の治療方針や日常生活などのさまざまな情報を収集しています。また患者さんの心の不安はもちろん、家族の精神的な面も含めて患者さんとお話ししながら、他の医療スタッフとも連携してサポートしています。

2

薬の効果・副作用や飲み方の説明

退院時には、入院中に服用されたお薬や退院後の服薬上の注意点などを記載した「退院指導書」を用いて患者さんに分かりやすく説明するとともに、お薬手帳にも記載します。この退院指導書に記載された情報は、退院後に通院される患者さんを担当する薬剤師外来や保険薬局でも共有されています。



退院後も含めた長期的な副作用モニタリングや処方提案などを行うことで、患者さんの安全な薬物治療と生活の質の向上に寄与。

薬物治療の質と安全の向上が目的です



初回 医師の診察後に患者さんの情報を確認した上で、服薬方法や副作用、さらには日常生活での注意点などの説明を行います。

2回目以降 医師の診察前に患者さんの服薬状況や副作用状況を確認し、電子カルテを用いて主治医にその情報を伝達することで状況に応じた支持療法の提案を行います。

その他

呼吸器疾患患者さんへの吸入指導、糖尿病患者さんへの自己注射指導、C型肝炎患者さんや脳卒中再発予防外来を受診される患者さんへの服薬説明も行っています。また、入院患者さんを外来へとシームレスにフォローするため、入院中に担当した病棟薬剤師とも情報共有を行っています。



ぜひお気軽に活用してください！



B棟1階正面玄関入って左側
入院受付前に薬剤師外来を設置しています。

当院薬剤部には地下1階にお薬の相談室も設置し、お薬のことなら何でも気軽に相談していただける体制を取っております。

Education
教育

臨床研修病院としての京都第二赤十字病院



当院では昭和47年から研修医の受け入れを行っており、平成15年度までに400名あまりの研修医に対して教育を行ってきました。新医師臨床研修制度が創設されたのに伴い、平成15年11月19日付をもって厚生労働大臣より「臨床研修指定病院」として承認されました。平成16年4月から基幹型臨床研修病院および協力型臨床研修病院として研修医の養成にあたっています。去る3月には19名が2年間の臨床研修を修了し、修了式を迎えるました(写真上)。計264名が卒立したことになります。また、4月2日からは京都府立医科大学からのたすき掛け研修医(1年目を京都第二赤十字病院、2年目を京都府立医科大学で研修)5名を含め24名の研修医が採用されました(写真下には歯科の研修医が1名含まれています)。

「将来の専門性にかかわらず、一般的な診療において頻繁に関わる負傷または疾病に適切に対応できるよう、基本的診療能力を修得するだけでなく、患者さんの立場に立って医療を実践し、患者さんから学ぶ姿勢を身に付けた社会的に尊敬される医師を養成する」という研修理念の下でこれから2年間研修に励みます。皆さまにはご迷惑をお掛けすることが多々あろうかとは存じますが、地域で将来の人材を育てようという広い心で接していただけたら幸甚に存じます。

(臨床研修管理委員長 谷口 弘毅)



平成29年度臨床研修修了式



平成30年度新卒採用職員交流会にて

通院治療

Pharmacy

保険薬局との連携

電話・メールなどによるフィードバック・相談

院外薬剤師とも連携して、安心な医療の提供へ

保険薬局に手渡していただく院外処方箋には、お薬の必要量を判断するために必要な肝機能や腎機能などを示す検査値が表記されています。検査値は、過去4カ月間の直近2回分のデータを記すことと、保険薬局の薬剤師が経時的な変化を見て、疑義照会の必要性を適切に判断できるように配慮しています。

また院外処方箋に保険薬局・病院間の双方向での情報交換を可能にする欄(トレーシングレポート)も、検査値とともに表記して情報共有しています。

情報共有により院内・院外
それぞれの薬剤師が、
患者さんにお渡しする薬の必要性を
ダブルチェックすることができます。

薬剤師 大坪 達弥

処方箋の右側に表記しています!

検査値

トレーシングレポート

Red Cross Activities
赤十字活動

第6回 院内災害救護訓練を実施



平成30年3月3日(土)、京あんしんこども館および当院内において第6回院内災害救護訓練を開催しました。訓練には職員150名と看護学生24名の計174名が参加したほか、京都第一赤十字病院、京都大学医学部附属病院、洛和会音羽病院の日本DMAT3チームにも参加いただきました。

訓練では、京都市内を震源とした直下型地震が発生したと想定し、多数の傷病者に対してトリアージを実施し、院内救護所への受け入れを行いました。

多くの課題が見つかった訓練ですが、今後の災害対応力を強化するうえで有意義な訓練となりました。



支援に来たDMATへ
処置状況を説明



次々と運び込まれる傷病者に
対してトリアージを実施

MIZUHO

みずほ銀行

一緒にがうれしい
On Your Side

みなさまのすぐとなりに
京都中央信用金庫がいます。

府庁前支店

釜座通丸太町上ル西側
☎ (255)6181
FAX (255)6201

なが——い、おつきあい。

飾らない銀行

京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地
TEL.075-361-2211(代表)

平成29年度 支部管内合同災害救護訓練に参加



日本赤十字社京都府支部が平成30年2月12日(月)、京あんしんこども館および当院において支部管内合同災害救護訓練を開催し、当院から救護班要員7名と訓練スタッフ10名が参加しました。

この訓練は京都府内の赤十字病院、赤十字血液センター、赤十字防災ボランティアの救護員が合同で行うもので、今回は避難所前救護所診療と避難所アセスメントを主な内容として訓練しました。



避難所アセスメントを行う救護班

外来担当医師表

■新患 ■再来 ■完全予約制 ■予約制

*予約診療制(急患を除く) *予約外受付時間 全診療科 午前8時30分～午前11時00分

平成30年4月2日現在

診療科目	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
内科	1診	門野(糖尿病・内分泌)	佐々木(血液)	小林(血液)	魚嶋(血液)	瀬野(腎臓)	魚嶋(血液)				
	2診	■魚嶋(血液)	堤(血液)	村上(腎臓)		小森(血液)	茎田(リウマチ・膠原病)				
	3診	加藤(糖尿病・内分泌)	茎田(リウマチ・膠原病)	長谷川(糖尿病・内分泌)		門野(糖尿病・内分泌)	長谷川(糖尿病・内分泌)				
	4診	岡本[1・3週] 小森[2・4週] 担当医[5週]	岡本[1・3週] 小森[2・4週] 担当医[5週]	門野[隔週] 岡本(血液)	■茎田[北川] [隔週]	桜山(糖尿病・腎臓) リウマチ	■佐々木[1・3週] [隔週]	加藤 担当医[5週]	村上[瀬野] [隔週]		
	移植後外来		担当看護師								
呼吸器科	1診	久保田	南端	■原	長谷川		久保田	■原	■担当医		
	2診	■新患担当医	久野	■新患担当医	■新患担当医	古谷	■新患担当医	廣瀬	■新患担当医	長谷川	
	3診									古谷	
循環器科	1診	藤田	松尾	坂谷		藤田		井上			
	2診	椿本	椿本(血管・末梢動脈疾患)	山中	下尾	五十鈴		入江			
	3診	高松	井上(ペースメーカー)			藤本	北村	白神	坂谷(ペースメーカー)		
消化器科	1診	■鈴木	■中瀬	■盛田		■河村		■宇野			
	2診	■猪上	■宇野	■田中	■白川	■安田		■雨宮			
	3診	■宇野	■岡田	■河村	■宇野	■萬代	■真田	■中瀬	■鈴木		
	4診	■岡田	■■盛田(肝臓)	■真田		■崎山		■萬代			
脳神経科	1診	田中	永金	山田	芦田			中島			
	2診			■脳卒中再発予防			■脳卒中再発予防		■脳卒中再発予防		
こころの医療科	1診	多賀	多賀	多賀				多賀			
	2診	前林	前林	前林	前林		前林				
	3診	檜垣	檜垣		檜垣			檜垣			
外科	1診	■岡野	■谷口	■井川 (新患及び大腸肛門)	■井川 (大腸肛門)	■山口	■山口	■阿辻	■阿辻 (再来及びストマ)		
	2診	■伊藤		■飯塚(大腸肛門)	■坂井(小児外科)		■中村	■氏家			
	3診	■柿原		■富田(乳腺外來)	■渡邊		■越智	■石井(乳腺)	■石井(乳腺術後)		
	4診		(呼吸器外科使用)	■石井(乳腺外來)	(呼吸器外科使用)		(呼吸器外科使用)				
呼吸器外科		宮田			柳田[1・3・5週]・宮田[2・4週]		柳田				
心臓血管外科	1診			後藤・小林/法里 (血管外來)	平松 (成人先天性心疾外來)		平松		後藤		
脳神経科 ※午後は14時から 特殊外来	1診	村上陳	■村上陳	担当医	中原	■中原	担当医	武内	■武内[14時～]		
	2診		■村上守		村上守			丸山	■村上陳 [13時～]		
整形外科	A	■谷口大	■福井	■奥田	■平井/■立入[PM]			■八田			
	B	■松木	■井上	■松木	■細川			■谷口有			
	C	■平井	■足立	■野々村				■野々村			
	2診		■平井(膝・スポーツ)	■福井(股関節・人工関節)	■野々村(脊髄・脊椎)						
	3診	奥田(手・末梢神経)	谷口有	■細川	■八田(脊髄・脊椎)			井上			
小児科	4診	足立	谷口大 (リウマチ)	■日下部(小兒・股関節)	■谷口大 (リウマチ)			松木(手・末梢神経)			
	1診	■長村	フォローアップ外來	■大前	乳児健診・予防接種	■長村	■内藤	■大前	乳児健診・予防接種		
	2診	■藤井	■多加喜	■東道	大前(神経・在宅)	■齋藤	■小林(小児循環器)	■大前	■齋藤	■田宮	
産婦人科	3診	■小林(専門) (小児循環器)	渡部[1週] 齋藤[2・3・4週]	■藤井(専門) (アレルギー外來)	■東道(専門) (アレルギー外來)	■藤井 (アレルギー外來)	■長村(専門) (小児神経)	■松尾[1週]	■小林(専門) (小児循環器)	■東道 (小児腎臓・免疫)	
		■藤田・■浅野・■山本	■栗原[1・3・5週]・■福山[2・4週] ■藤田	■福山[1・3・5週]・■衛藤[2・4週]	■衛藤	■山本・■益田	■山本・■益田 ■衛藤[1・3・5週]	■加藤・■益田	■加藤		
耳鼻咽喉科	新患	■齊藤	■内田	■村井		■村上		■出島(紹介)			
	再来	■村井・■担当医・■森本	■村井・■村上・■齊藤/■森本	■出島・■内田[2・4・5週]・■齊藤		■担当医		■内田・■村上・■齊藤			
眼科	1診	■溝部	■田中	■溝部		■澁井		■吉川			
	2診	■粥川	■澁井	■粥川		■吉川		■田中			
	3診	■松本		■松本							
	特殊外来			■溝部(斜視外來)							
皮膚科	池田・■山里	■岡村・■曾我	■曾我		■山里		■山里		■池田・■岡村		
	予約再診	■山田・■曾我 岡村	■池田・■曾我 岡村(乾癬外來) 岡村・■山里	■手術 アレルギー検査 紫外線治療	■高橋・■岡村 ■山里 ■小手術[1・3・5週]	■曾我・■岡村 ■山里 ■池田(脱毛症外來)	■池田・■曾我 ■山内・■岡村	■小手術 紫外線治療	■曾我・■高橋 ■山里	■池田・■曾我 ■岡村・■山里	
形成外科	1診	■担当医	■稻福			■奥田					
	2診	■奥田	■担当医	■貴島	■担当医		■堀	■担当医	■貴島	■担当医	
泌尿器科	1診	■担当医	■大石		■邵		■中尾		■邵		
	2診	■大石	■中尾		■齋藤		■担当医		■齋藤		
歯科・口腔外科	1診	■田中	■猪田	■西川		■田中		■西川			
	放射線治療科	■小谷・■立川	■小谷・■立川	■小谷・■立川		■小谷・■立川		■小谷・■立川			
放射線診断科	藤田・寺山・■山田・喜馬・乾・渡邊・小寺・山下	藤田・寺山・■山田・喜馬・乾・渡邊・小寺・山下	藤田・寺山・■山田・喜馬・乾・渡邊・小寺・山下	藤田・寺山・■山田・喜馬・乾・渡邊・小寺・山下		藤田・寺山・■山田・喜馬・乾・渡邊・小寺・山下		藤田・寺山・■山田・喜馬・乾・渡邊・小寺・山下			
緩和外来				■柿原							
麻酔科(院内対診のみ)									■担当医		
睡眠時無呼吸症候群(SAS)外来			■呼吸器内科 (新患担当医)		■耳鼻咽喉科 (村井)					■循環器内科 (入江)	
専門外来	■薬剤師外来	■加藤	■鹿浦	■神田	■加藤	■大坪	■大坪	■神田	■大坪	■加藤	
	■看護外来	■担当看護師	■担当看護師				■担当看護師		■担当看護師		
外来ドック	■小林・■井上・■西大路・■釜口	■小林・■井上・■釜口	■井上・■西大路・■釜口	■小林・■井上・■西大路		■小林・■井上・■西大路		■井上・■西大路・■釜口			
入院ドック	■小林	■小林	■小林	■小林・■西大路		■西大路		■西大路			

●初診の患者さんの外来受診には、他の医療機関からの紹介状をご持参ください。 ●紹介状のない方が受診する場合は、選定療養費として5,000円(税抜)を請求させていただきますのでご了承ください。